

国際会議「第5回 環境汚染におけるコロイド 界面現象と界面科学の取り組み」のお知らせ

2008年6月1日から4日まで、The 5th Conference INTERFACES AGAINST POLLUTION が、京都市で開催されます。この会議の主催に本学会の会員が関わっており、内容は本学会と深く関連しております。土壌物理学会としても、この国際会議を共催することを事務局で決定しました。この国際会議を会員に広くお知らせすべく、以下のとおり案内致します。

名称：国際会議 第5回 環境汚染におけるコロイド
界面現象と界面科学の取り組み
(The 5th Conference INTERFACES
AGAINST POLLUTION 2008)

主催：IAP2008 国内委員会

期日：2008年6月1日～4日

開催場所：京都大学時計台記念館

概要：INTERFACES AGAINST POLLUTION は環境問題に対するコロイド界面科学の取り組みをテーマに、ヨーロッパを中心に行われてきた150～200人規模の国際会議です。第5回の京都会議では、以下の内容について、基調講演、

キーノートレクチャー、一般講演（口頭、ポスター）を行い、基礎科学から応用問題につながる幅広い討議と日本の特徴を踏まえた情報発信を予定しています。

1. 自然環境、天然素材のコロイド界面科学
(土、水、粘土、金属酸化物、腐植物質、微生物、活性炭、エコカーボン)
 2. 物資循環とコロイド界面科学
(移動現象、吸着、拡散、付着、物質動態、凝集、沈降、濡れ、界面動電、コロイド担体輸送、レオロジー)
 3. 環境修復技術の基礎としてのコロイド界面科学
(土壌汚染、水処理、大気汚染、環境触媒、分離膜、化学分析)
 4. 環境にやさしい生産におけるコロイド界面科学
(プロセス制御、ナノテク汚染、環境計測、その他)
- アブストラクト締め切り：2008年2月14日
詳細はホームページ <http://www.rs.noda.tus.ac.jp/iap2008/> をご覧ください。
連絡先：足立泰久(筑波大学大学院生命環境科学研究科)
IAP 国内委員会事務局
iap2008@envr.tsukuba.ac.jp